

NAGOYA UNIV. OPEN LECTURE

対象

中高校生・一般

要事前申込
入場無料

名古屋大学 オープンレクチャー 2025

大学の研究って何!?
研究者ってどんな人!?
さまざまな分野で活躍する名古屋大学の研究者が、自身の「知りたい!」を追求し、人生をかける研究について話します。

3/20

木・祝

13:00 ~ 16:30 (受付 12:30 ~)

※途中入退場可 (希望するレクチャーのみの聴講可)

会場 名古屋大学東山キャンパス
理学南館 坂田・平田ホール

申込 要事前申込

右記のQRコード (または下記 URL) からお申込み下さい

URL <https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/research-information/openlecture>



定員 先着 200 名

申込受付開始日 2月7日 (金)



※公共交通機関をご利用下さい。

お問合せ

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
TEL : 052-747-6527
E-mail : outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学

13:00 ~ 13:15

開会あいさつ・大学紹介

レクチャー①

植物の「口」を減らしたり
増やしたりするはなし

13:15 ~ 14:00

気孔は、植物の「口」です。主に葉っぱの裏側にあり、物質の通気口として、光合成に必要な二酸化炭素を取り込み、酸素や水分を排出する、とても大切な器官です。気孔を作る細胞(孔辺細胞)の発生の仕組みや、気孔を減らす化合物についての最近の研究成果を中心にお話します。

中川 彩美 (なかがわ あやみ)
トランスフォーマティブ生命分子研究所 研究員



レクチャー②

未来の医療を切り拓く
- 子どもの病気と最先端研究 -

14:00 ~ 14:45

遺伝子解析や最新の医療技術を駆使して病気の原因を明らかにし、新しい治療法を模索する現場を紹介します。小児血液腫瘍や先天性免疫異常症といった難病に対する治療にも触れ、未来の医療に興味を持つきっかけを提供します。

村松 秀城 (むらまつ ひでき)
大学院医学系研究科 准教授



14:45 ~ 14:55

休憩

レクチャー③

筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の
治療薬研究のはなし

14:55 ~ 15:40

ALS は運動神経の変性で全身の筋力が失われる神経難病ですが、未だに完全に治療できる薬がありません。私は脳神経内科医として病院で勤務し、当初研究には興味がありませんでした。そんな私が ALS 患者さんから作製した iPS 細胞由来運動神経研究で目指す ALS の治療薬開発についてお話しします。

横井 聡 (よこい さとし)
大学院医学系研究科 准教授



レクチャー④

トポロジーの物質科学：
大学での学びと学問の融合

15:40 ~ 16:25

「トポロジーの科学」は、形の本質を調べる数学を基盤として、化学や物理と深く結びついています。この講演では、「学ぶとは何か」という問いを出発点に、大学での学びや、物理と数学の違いを考えながら、我々の物質開発研究を通じてトポロジーが新たな物性や機能を生む仕組みを紹介し、学問を越えた融合研究の魅力を感じていただきます。

阿波賀 邦夫 (あわが くにお)
大学院理学研究科 教授



16:30

閉会